

「関係人口論」とその展開

－ 「住み続ける国土」へのインプリケーション－

小田切 徳美
(明治大学)

■ 「関係人口論」の登場

○ 「関係人口」

- ・ 指出一正氏（「ソトコト」編集長）
- ・ 高橋博之氏（「東北食べる通信」編集長）

} ⇒ 「関係人口」

○ その意味

- ・ 「関係人口とは、言葉のとおり『地域に関わってくれようとする人口』のこと。自分でお気に入りの地域に週末ごとに通ってくれたり、頻繁に通わなくても何らかの形でその地域を応援してくれるような人たち」（指出『ぼくらは地方で幸せを見つける』）。

= 「定住人口」でも「交流人口」でのではない人々

- ・ 「いくつかの地域ではそうした関係人口が目に見えて増えている」（同上書）
- ・ ただし、「交流人口」概念は本来はもっと多義的なもの⇒関係人口=再定義された「交流人口」

■ 「関係人口」の解釈

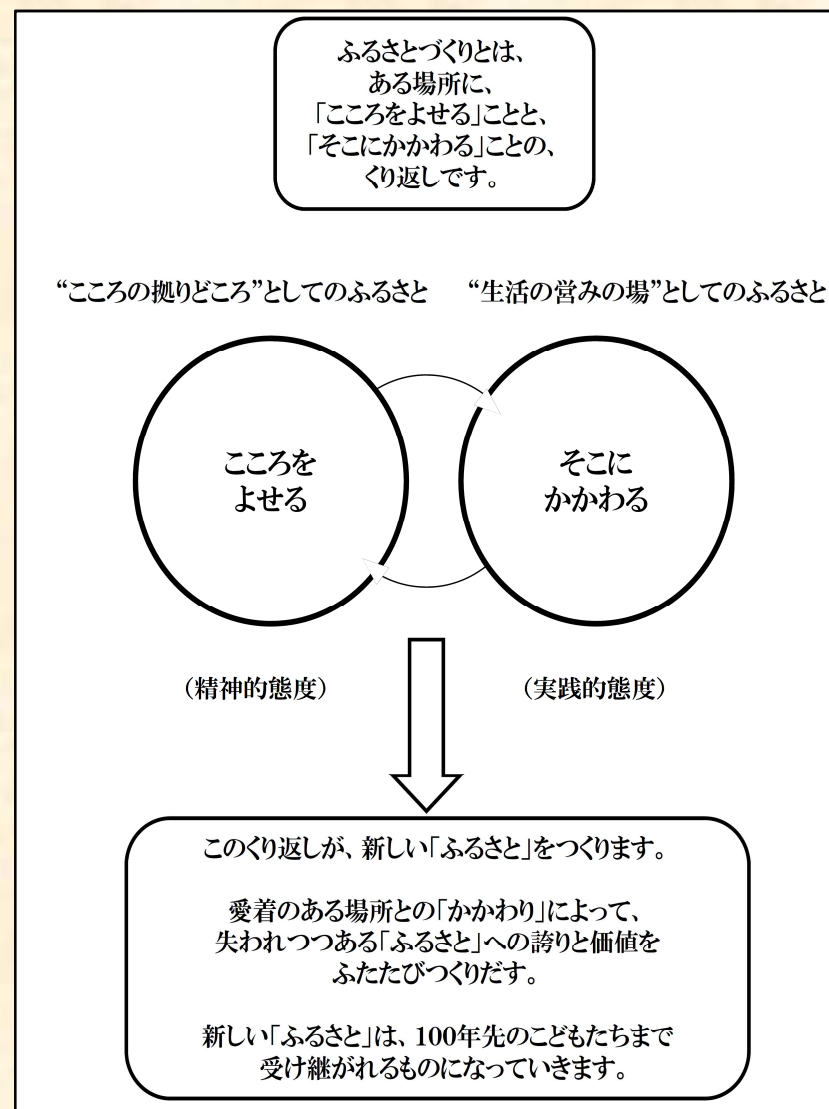
○ 関係 = 関心 (心を寄せる)
+ 関与 (係わる)

関係人口 = 関心人口
+ (または)
関与人口

〈参考〉

■ ふるさとづくり有識者会議
(内閣官房) 報告 (2014年)

○ 「ふるさとづくり」の定義⇒

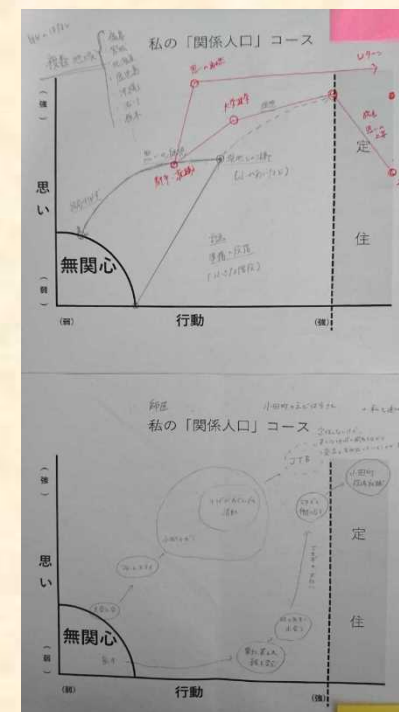
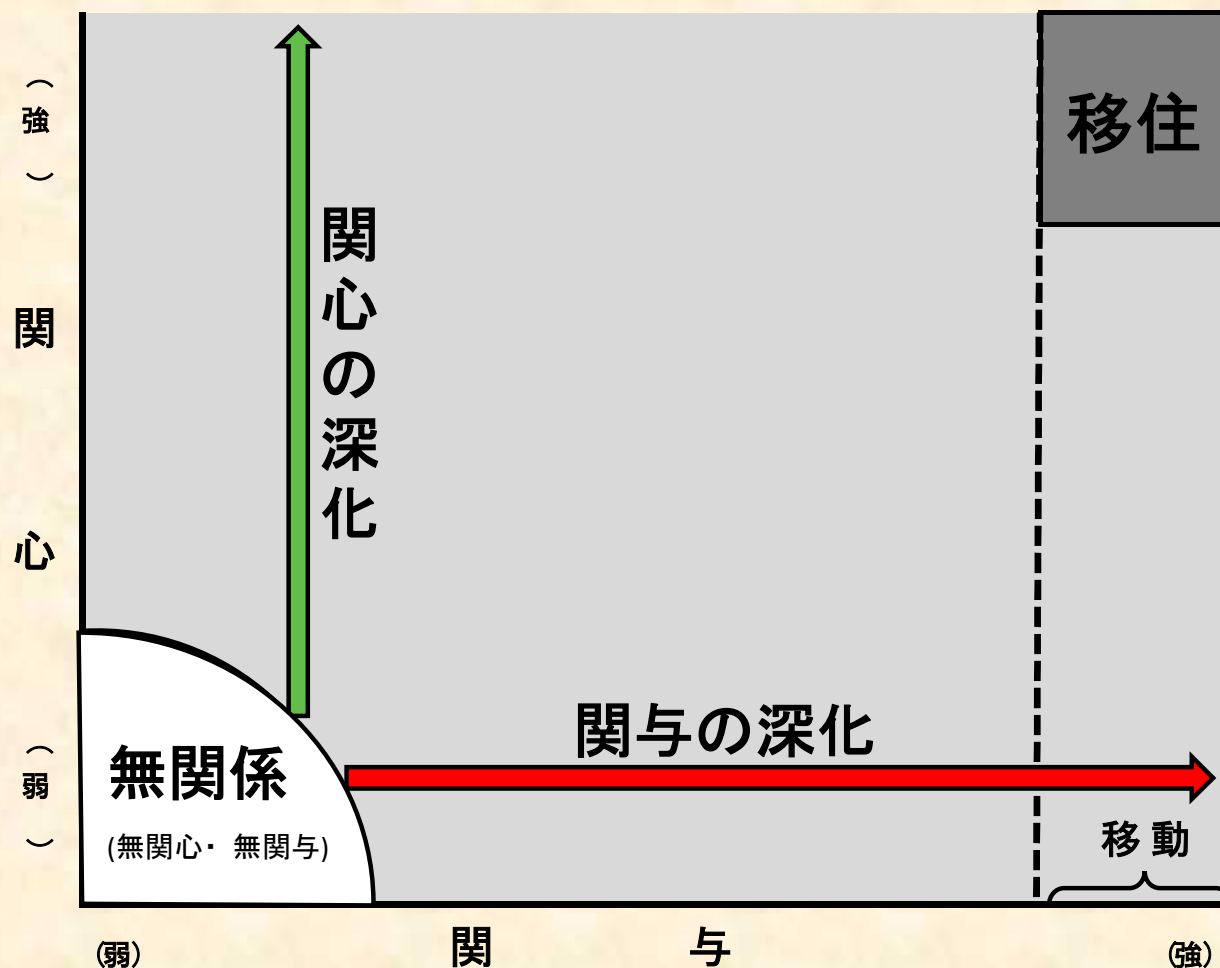


■ 「関係人口」の図式化

- ・ 関係人口 = 関心 × 関与フィールドのすべての領域
(ただし、「無関係」「移住者」を除く)

○ 〈参考〉「私の関係人口コース」の見える化

〈例〉学生の場合



■ 「関係人口論」からの展開

1. 移住の段階性

- あたかも階段のように、地域への関わりを深める
プロセス = 関わりの階段
- その例
観光地（目的地）への移動中の偶然の訪問を契機に
 - ① 地域の特産品購入
 - ② 地域への寄付（ふるさと納税等）
 - ③ 頻繁な訪問（リピーター化）
 - ④ 地域でのボランティア活動
 - ⑤ 二地域居住（準定住）
 - ⇒ ⑥ 定住
- 従来は、無関心⇒定住（プロセスのスキップ）を前提

○政策の視点

(1)多様なプロセスを前提としたプロセスモデルの確立

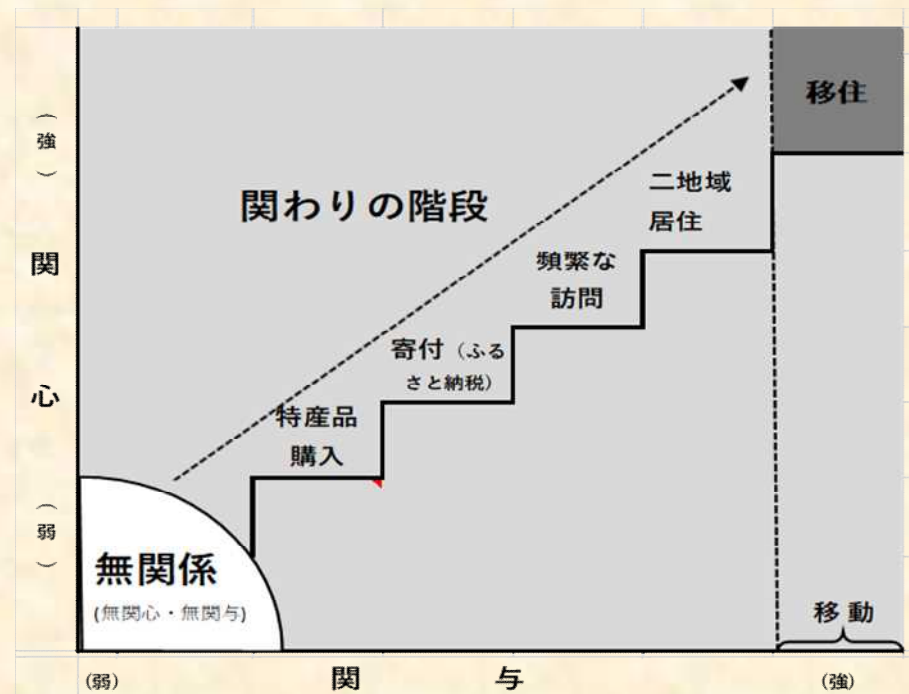
(2)政策の視点

①移住の拡大の前提としての関係人口の増大

・移住の裾拡大政策→奪い合いからの脱却

②階段の段差を低くする

・「関わりの階段」円滑化政策



2. 移住プロセスの多様性

○移住プロセスは本来多様

① 関与・関係併進型（「関わりの階段」モデル）

- ・ 関心を関与がパラレルに増大
- ・ 想定される標準(理想)型

② 関心先行型

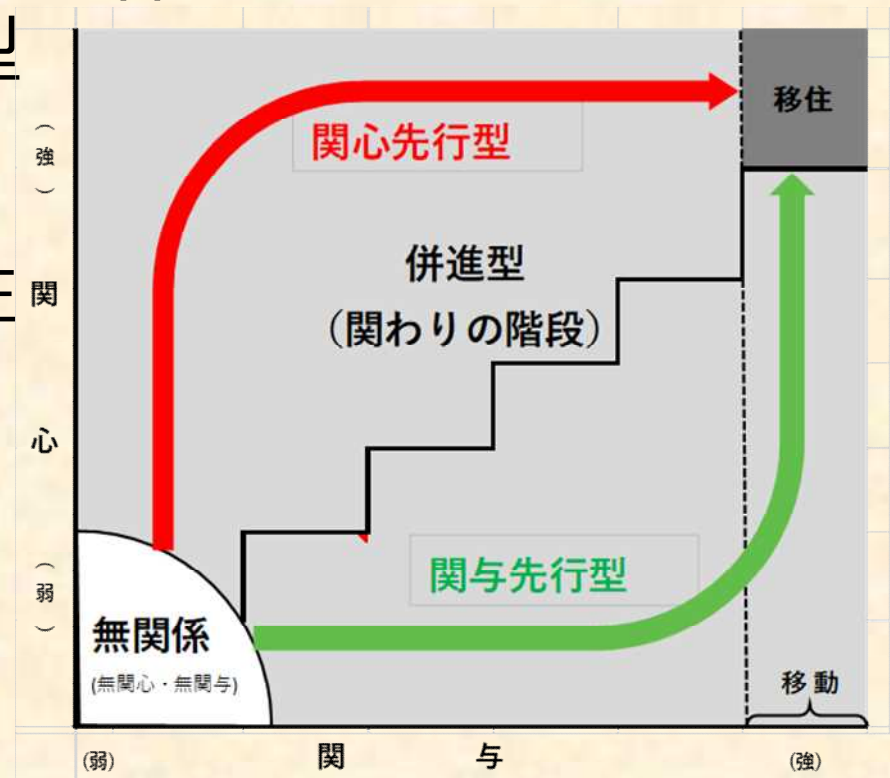
- ・ 地域への思い→移住
- ・ 有機農業のための移住に事例

③ 関与先行型

- ・ 移住→地域への思い
- ・ スポーツ移住に事例
(ex.サーフィン適地への移住)

○政策の視点

それぞれのプロセスで「関与」「関心」を制約する要因を特定化することが必要



3. 「関係人口」のさらなる多様性

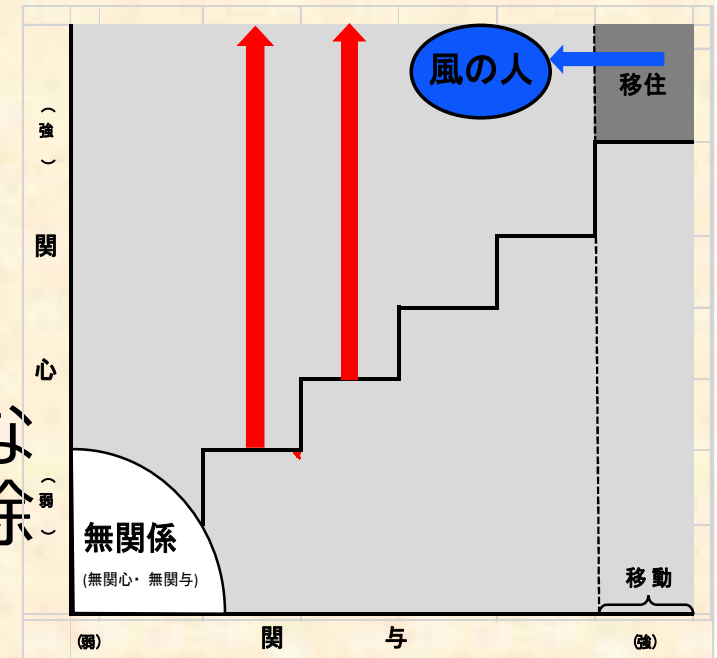
- ・「関係人口論」のメリットは従来意識されていない類型の析出を可能としたこと
- ・その事例パターン

① 移住しない「関係人口」

- ・移住を前提としない移動
= 狭い意味での「関係人口」
- ・課題解決への高い貢献意識
- ・地域サイドは「定住しないなら係わる必要はない」と排除しないことが必要

② 逆流関係人口

- ・いわゆる「風の人」 (田中輝美氏)
- ・「移住」 + 「去る」 (地域に同化する前に去る)
- ・他地域に移住しながらも地域に係わる



■ 「関係人口」をめぐる検討課題

● 検討中の課題

○ 地方自治体と「関係人口」

- ・ 総務省「これからの移住・定住に関する研究会」で検討中（中間報告、2017年4月）
- ・ 「地域や地域の人々と多様に関わる者である『関係人口』に着目し、『ふるさと』に想いを寄せる地域外の人材との継続的かつ複層的なネットワークを形成することにより、このような人材と『ふるさと』との関わりを深め、地域内外の連携によって自立的で継続的な地域づくりを実現することが重要となっている」（同中間報告）
- ・ 「ふるさと住民票」の可能性などを検討中

●今後の検討会課題

①関係人口の量的な把握

- ・「いくつかの地域ではそうした関係人口が目に見えて増えている」（前掲・指出氏）の確認

②「小さな拠点」と「関係人口」

- ・多様な関係人口のプラットフォームとしての「小さな拠点」の可能性

③「新しい内発的発展」と「関係人口」

- ・新しい内発的発展＝地域外との交流・交渉を内発性の動力のひとつとする発展（報告者の暫定的定義）
- ・「関心」「関与」の内部エネルギー化の方法
- ・特に「複層的ネットワーク」（総務省報告）の機能

⇒ 「対流促進型国土形成」における
「関係人口」の役割・機能の検討へ